

市役所新庁舎建設基本計画（素案）に関する市民説明会

1 開催日時・場所、参加者数

地区	日時	場所	参加者数
西明石	1月18日（土） 10：00～11：45	望海コミセン1階 教養室	16名
二見	1月18日（土） 14：00～15：35	西部文化会館3階 大会議室	8名
魚住	1月19日（日） 10：00～11：40	魚住市民センター3階 大会議室	13名
大久保	1月19日（日） 14：00～15：40	あかし保健所2階 会議室	14名
明石	1月26日（日） 10：00～12：00	市役所本庁舎8階 806会議室	25名
計			76名

2 意見概要と市の回答内容

当日の意見の概要と市の回答内容は以下のとおりです。なお、頂きましたご意見については趣旨を損なわないように要約しています。

(1) 計画全般・基本理念について

意見の概要	回答内容
<ul style="list-style-type: none"> 基本計画（素案）についての説明だったが、よく考えて様々な視点から検討されていると思う。 良い基本計画（素案）だと思う。基本理念や整備方針についてもしっかりと書かれていると感じた。 基本計画（素案）に示されている新庁舎の内容は、建物の集約化やスマートでスリムという考え方など、よく考えられた案だと思う。 建物を1つに集約し、敷地を整理するという点は素晴らしいと思う。 新庁舎は明石のランドマークとなる建物であり、市民が自慢できるような施設にしてほしい。そのために、基本計画（素案）にあるSDGsの考え方やバリアフリー・ユニバーサルデザインの導入を進めてほしい。 明石に住んで30年になるが、古くから親しんできた市役所庁舎が生まれ変わるということで正直心が躍っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 貴重なご意見ありがとうございます。計画策定の参考とします。

(2) 災害時の対応力強化について

意見の概要	回答内容
<ul style="list-style-type: none"> 現在の案は市議会が全員賛成で決めたものなので、後はどのような新庁舎にするのかという議論が必要だと思う。災害が起こった際に、想定外という言葉で終わらせず、しっかりと市役所が機能するようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災対策について、兵庫県のシミュレーションでは南海トラフ地震が発生した際に想定される津波の高さは現在地周辺で2mとなっています。現庁舎敷地の標高は 2.4mとなっていますが、想定を超える高さの津波も考えられることから、標高3m以下の場所については津波への警戒が必要と考え、基本計画（素案）にも防潮板の設置や地盤のかさ上げ等の対応策を示しているところです。今後も、高砂市や広島県三原市・尾道市など、海や川に近い場所で庁舎を建て替えた他自治体の事例等を参考にしながら、具体的な対策について、設計の段階で積極的に検討していきます。 建物自体に問題はなくても、周辺が浸水して公用車が出られないという事態にならないよう、今後の基本設計の中で、建物の配置や災害時の動線についてしっかりと検討していきます。 職員が市役所に参集できないような、想定を大幅に超える災害についても考えておかなければならず、本市では災害発生時における事業継続計画（BCP）を策定していますので、その中で本庁舎の代替施設の設置も含めて検討していきます。 ハザードマップでは明石駅周辺は浸水想定区域に入っています。その原因となる明石川の氾濫対策として、現在JRの橋梁部分を改修し、河川を拡幅する工事が行われているところであり、工事が完了すれば、明石駅周辺の浸水の危険性は低下する見込みです。 駐車場については、現在の駐車台数を確保するとともに、災害時は公用車の活動に支障がないようにしっかりと検討していきます。 消防システムの更新時期が近づいているところであり、ご指摘の点につい
<ul style="list-style-type: none"> 職員が災害発生時に出勤できるのかが気になる。職員が現地に出て行けるようにすることが重要だと思う。 	
<ul style="list-style-type: none"> 現在地については津波を3m程度で想定していると思うが、想定以上の高さの津波が来るかもしれない。仮に大規模な地震が発生して、職員が市役所に到達できないような事態になったらどうするのか。 	
<ul style="list-style-type: none"> いざという時に頼りになる新庁舎となるよう、しっかりと対応をお願いしたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> 地震に対しては免震技術等が本当に進んでいるが、東日本大震災のような想定外の津波が起きたときに、別の場所にも拠点を用意しておく必要があると考える。均衡あるまちづくりという観点からも検討してほしい。 	
<ul style="list-style-type: none"> 新庁舎を現在地で建て替えた場合、市民や職員が庁舎にたどり着けなかったり、建物自体は残っていても、利用できなかったりしたらどうするのかというのが不安である。集中豪雨などで明石川が氾濫した際に、市民や職員はどのようにして市役所に行けばよいかということをお聞きしたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> 庁舎の地盤を嵩上げしても周辺や中心市街地は水没する可能性がある。市役所を市民の一時避難所とする場合は市民が出入りできなければならないし、市職員が出入りできなければ防災機能がある庁舎にはならないのではないか。 	
<ul style="list-style-type: none"> 基本計画（素案）14ページでは、現在地の整備イメージとして、1階のピロティ部分を駐車場として活用するようになっており、ここに公用車を駐車する予定だと聞いたが、それで災害時の対応ができるのか。駐車場の考え方について改めて説明してほしい。 	
<ul style="list-style-type: none"> 防災面については、公助だけではなく、自助・共助が重要であり、行政の仕事は自助・共助が機能する仕組みをつくることであると考えている。 	

意見の概要	回答内容
<ul style="list-style-type: none"> 消防本部が藤江にあるため、災害発生時に災害対策本部が2か所に分かれるような形になってしまうのではないかと。神戸市など災害対策本部を1か所にしている自治体が多いが、2か所に分けられると対策が後手に回ることもありえるので、システムでの連携も視野に、災害対策本部を1つに集約できるように検討していただきたいと思う。 	<p>では消防局と調整していきます。</p>

(3) 環境への配慮とライフサイクルコストの縮減について

意見の概要	回答内容
<ul style="list-style-type: none"> 新庁舎ではSDGsの考えに基づき、太陽熱や自然光を利用するなど、省エネルギーの庁舎にしていきたい。 屋根に光窓を設置して、照明を少なくすることも検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境面については、太陽光パネルで発生した電気を蓄電し、災害時の停電の際に活用することなどを検討していきます。
<ul style="list-style-type: none"> 整備方針4の具体例が少ない気がする。新庁舎は、明石市がSDGsの目標を達成するためのシンボルとなる建物だと思うので、例えば、太陽光を多く取り入れるなど、省エネルギーに徹した庁舎であってほしい。 空調についても太陽熱や地中熱を活用することで、市民が自宅でも省エネルギーに努めようという気持ちになると思う。お手本のような存在になるよう、設計段階から工夫を積み重ねてほしい。 明石市で省エネルギーについて専門的に検討する部署があるのか、ある場合は職員体制もお聞きしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 本日のご提案内容やパブリックコメントでの提案内容を精査し、基本計画に盛り込むことを検討します。 本市では、環境室環境総務課で再生可能エネルギー等の調査研究を行っていますが、エネルギー対策をはじめ、地球温暖化による気候変動対策に積極的に取り組むため、体制強化について検討しています。

(4) 市民サービス・市民利用について

意見の概要	回答内容
<ul style="list-style-type: none"> 市役所に手続きに行った際、様々な部署に行かなければならない時にワンフロアであれば移動が楽である。現在の庁舎は、内容によって別の建物に移動しなければならない。上下の移動であればエレベーターで済むが、横の移動は負担が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 現庁舎は窓口が複数の建物に分散しており、来庁者の方々にご不便をおかけしている点が大きな課題となっています。新庁舎では、建物を1棟に集約することで来庁者の利便性を高めようとしています。

意見の概要	回答内容
<ul style="list-style-type: none"> 今後、高齢化がますます進んでいく中、市民センターの所管業務を増やす視点で制度設計をしていただきたい。本庁舎までわざわざ足を運ばなくても、大半のことが市民センターで手続き可能ということになれば、高齢化社会にも対応できる市役所になると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画（素案）7ページに、新庁舎を検討するにあたっての前提となる考え方として「住みやすさを追求するまち・あかし」とし、子どもや高齢者、障害者等、すべての人が身近なところで気軽に市民サービスが受けられることを掲げています。
<ul style="list-style-type: none"> 市役所の建て替えは必要だと考えるが、明石駅周辺だけではなく、市の西部にも目を向けてほしい。例えば、魚住市民センターは老朽化しており、新庁舎整備のタイミングに合わせて市民センターも設備を更新するなど、地域拠点の整備・充実に取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内の主要駅近くにサービス拠点を整備し、身近なところで行政サービスが受けられるようなまちづくりを行うことを視野に入れ、本庁舎については、スリム化・コンパクト化を図っていきたいという考えで現在検討を進めています。
<ul style="list-style-type: none"> 超高齢化社会、共働き社会の中で、市民が身近なところで行政サービスを受けられる仕組み作りを検討する必要がある。ミニあかし構想にあるように、市内各地区に拠点を整備し、職員をしっかりと配置することを検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少社会に対応できる庁舎というのはこれから非常に大事なテーマになると考えています。本庁舎のスリム化や地域拠点での行政サービスの提供といった視点を持ちながら引き続き検討を進めていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ミニあかし構想があるが、各地域拠点がまちづくりの起点となって、周辺が充実していくというような考え方も含めていかなければならないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地だけではなく、市内全域の均衡のとれたまちづくりに取り組んでいく必要があると考えています。
<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化でこれから人口が減っていく中での市役所のあり方について、しっかりと検討されているのかが気になる。 	
<ul style="list-style-type: none"> 明石市が10年前に庁舎のあり方について検討協議会を設置して答申を受けた内容が、現在の基本計画（素案）の中にどのように反映されているのか説明してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 2011年に設置した市役所機能検討委員会では、5市民センター構想や窓口機能の充実等について一定の考え方を取りまとめており、その後、当時の検討内容も踏まえ、都市ビジョンに関する構想を策定しています。市としては、できるだけコンパクトな庁舎を整備しつつ、市民の身近なところでも市民サービスを提供できるような環境を整えていきたいと考えています。

意見の概要	回答内容
<ul style="list-style-type: none"> 高層階の見晴らしの良いところに市民が利用できる展望レストランや名産品の販売所を設置し、市民だけではなく、他市からも多くの方に新庁舎に来ていただき、明石市役所がこれだけ眺望の良いところにあるということを知ってもらいたい。 南側には海が見え、北側には明石城や天文科学館が見えるような建物になれば良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在地で庁舎を建て替えることで、明石市の絶好のビューポイントという強みを生かせると考えています。 市民の方はもちろん、市外の方も多く来ていただけるよう、淡路島から明石海峡大橋を見渡せ、北側には明石公園や天文科学館が見えるような仕掛けを考えていきます。
<ul style="list-style-type: none"> 淡路島や明石海峡を一望できる現在地は本当に良い場所だと思うので、新庁舎では眺望の活用を検討していただけたらと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 来庁者が食事できる場所や、明石市に来た記念になるようなものを購入できる店舗などについても検討していきます。
<ul style="list-style-type: none"> 新庁舎に行けば明石の歴史も勉強できるような建物にしていきたい。 	

(5) 空間構成・配置計画（ゾーニングイメージ）について

意見の概要	回答内容
<ul style="list-style-type: none"> 新庁舎の空間構成イメージでは、低層階に窓口部門やコミュニティスペース等、人が集まりそうな施設が集中している。仮に地震が起こった場合、速やかに退避することはできるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 低層階への窓口部門やコミュニティスペースの配置については、市民の利便性の観点から検討しています。
<ul style="list-style-type: none"> 1つの建物だと被災時にエレベーターが止まると上層階の人が下まで降りてくるのが大変である。被災時にもすぐに動けるように、できるだけ庁舎は低層の方が良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 地震が起こった時を想定し、避難路の確保など避難計画をしっかりと検討していきます。 新庁舎の具体的な階数については、今後基本設計の中で検討していきます。

意見の概要	回答内容
<ul style="list-style-type: none"> 基本計画（素案）36 ページに「新庁舎の敷地とならない部分については、民間事業者への売却等を検討する」とあるが、市の考えを聞かせてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 新庁舎整備には多額の費用が必要となりますが、できるだけ市民負担を抑えることが基本だと考えています。そのため、現在複数棟からなる庁舎を1棟に集約し、新庁舎の敷地にならない部分については、売却等により市の負担を軽減するという考えで基本計画（素案）を作成しました。
<ul style="list-style-type: none"> 基本計画（素案）では、現在地の敷地半分を売却することで15億円の収入を見込んでいるが、特別委員会の中でも売却には反対の意見があった。 今後、方針を変更して残地を売却しないということもあり得るか。 売却しない場合は市の負担が増えることになるが、それについてはどのように考えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 12月の市議会特別委員会において、現庁舎敷地の一部を民間へ売却するという基本計画（素案）の内容を説明したところ、委員からは、「眺望が素晴らしい海に面した一等地である。15億円は大事だが、これを安易に売却するのは非常にもったいないのではないか。」との意見がありました。
<ul style="list-style-type: none"> 現庁舎の跡地を民間事業者に売却する場合は、市が一定程度規制を加えるなどして、新庁舎との整合性が取れるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 売却するのか土地を残すのか、どちらがより市民のためになるのが判断基準だと考えており、現時点では売却にこだわらずに検討していきます。
<ul style="list-style-type: none"> 去年は市制施行100周年、明石城築城400周年だったが、大型バスの駐車場に困っていたのではないか。 現庁舎跡地を民間に売却するよりは、観光バスの駐車場として活用するなど、中心市街地に人が集まる、呼び込める工夫を考えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 市役所西側の明石港43,000㎡のエリアで、現在、兵庫県が砂利揚場を廃止し、再開発を予定しています。
<ul style="list-style-type: none"> 現在地は少し駅から遠いという意見もあるので、今後、明石港東外港の再開発とあわせて動線についても工夫しながら進めていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 明石の海の玄関口、南の拠点にふさわしい施設を民間活力の導入により検討しているところであり、今回の市民説明会で頂いた意見も参考にしながら、現庁舎跡地の活用方法を検討していきます。 駅からのアクセスについては、現庁舎跡地の活用や明石港東外港の再開発などが関連してきますが、市役所周辺が中心市街地の南の拠点となり、人の流れが生まれるような取組を検討していきます。

意見の概要	回答内容
<ul style="list-style-type: none"> • 建物の配置計画については今後どのように決定していくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 配置計画については、来年度の基本設計に向け、3月議会でどちらかの案に絞る必要があると考えます。
<ul style="list-style-type: none"> • 配置計画A案の場合、議会棟の仮設庁舎にかかる費用が「後年度に資産として残らない投資」とあるが、どういうことか。 	<ul style="list-style-type: none"> • A案・B案について、まずは市の考えをまとめて3月議会で報告し、決定していきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> • 配置計画についてはB案の方が良いと思う。職員が引越する手間や時間を考えると、B案の方が早く工期が済み、良いのではないかなと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> • A案の「後年度に資産として残らない投資」とは、議会棟の仮設庁舎に要する投資のことであり、リース方式で整備するため、新庁舎への移転完了後に取り壊すこととなります。
<ul style="list-style-type: none"> • 配置計画B案の場合、工事期間中の来庁者用駐車場についてはどのように考えているのか。 	
<ul style="list-style-type: none"> • 現在の公用車駐車台数 158 台のうち、民間活用予定地に含まれているのは何台か。 • 配置計画A案では、現在議会棟前に駐車している車の駐車場所が新たに必要になるが、土地を買うことで解消するのか。 • 配置計画B案で示されている駐車場ゾーンに、現在の立体駐車場及び公用車の駐車台数を収めようとするとかかなり高層の駐車場になると思うが、実現性があると考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> • B案の場合の駐車場ゾーンには、ワンフロア 70 台程度の駐車台数を想定しており、280 台であれば4層、350 台であれば5層の立体駐車場を想定しています。 • なお、工事期間中の来庁者用駐車場については、現在、市役所周辺の土地で駐車台数を何台程度確保できるか検討しており、その中で庁舎周辺にある市有地の暫定利用も考えています。
<ul style="list-style-type: none"> • 市民会館でイベントがある際に立体駐車場が満車となり、入庫待ちの車が行列をつくっているが、その状況は把握しているか。 • 市民会館のイベント終了後、駐車場の車が全部出るのに1時間位かかっている。配置計画 B 案で高層の駐車場を設置した場合どうなるか想定しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 新庁舎整備にあたり、駐車場は重要な要素です。市役所や市民会館にお越しになられる方々が支障なくご利用いただけるよう、また、災害時に公用車が円滑に出動できるようにすることが重要だと考えます。 • 現行の駐車台数を確保するとともに、利用者が長時間待つことなく、円滑に利用していただけることを前提条件として、配置計画のA案、B案のどちらの場合でもクリアできるよう取り組んでいきます。
<ul style="list-style-type: none"> • 市役所には重要な文書が数多くあり、収納するための書庫が必要となるが、現在の西庁舎を活用すれば良いと考える。新庁舎内に広い書庫スペースを設けるのはもったいない。 • 南会議室棟は築 15 年程度の建物であり、取り壊すのはもったいない。市役所の近くに高齢者ふれあいの里中崎があるが、耐震性がなく、バリアフリー対応にもなっていないので、南会議室棟に機能移転すれば良い。 	<ul style="list-style-type: none"> • 現在、庁舎内の文書量調査を行っており、重要なものとそうでないものの振り分けや、データベース化の可否について検討し、文書量の削減を行う予定です。 • 現在大きく4棟（本庁舎、議会棟、分庁舎、西庁舎）に分かれている執務場所を1棟に集約し、市民の利便性や業務の効率性が高まる庁舎を整備していく考えです。

(6) 財源・事業手法について

意見の概要	回答内容
<ul style="list-style-type: none"> • 国の交付税措置が市議会の決議の理由として挙げられていた。28 億円は総額としては大きい、50 年という使用期間や 30 万人という人口から考えると、決して大きい金額だとは思えない。 • 28 億円が大きいからという理由で、整備場所を現地に決めるというのは本末転倒ではないか。段階を踏んで決めていくのが本来のスタイルであり、整備場所の白紙撤回や決定延期もあってよいと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> • 市としては事業費をできるだけ抑制したいと考えており、約 140 億円という総事業費に占める 28 億円という国の財政措置は非常に大きく、適用要件が緩和されたこのタイミングを決して逃してはならないと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> • 今回の国の財政支援は交付税による措置であり、確実なのは通常 75%までの起債割合が 90%にまで拡大されるという点である。 • 交付税措置が確実に履行されるのか説明してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 市としては、この2年半の間、各候補地のメリット・デメリット、課題等、様々な角度から整備場所を検討してきた結果として示された、市議会の全会一致の決議を重く受け止め、現地で建て替えを決定しました。
<ul style="list-style-type: none"> • 国の財政支援メニューである市町村役場緊急保全事業の要綱を読むと、適用要件として、建て替え後の庁舎は、事業継続計画に位置づけられるものでなければならないと書かれている。したがって、本庁舎が使えなくなれば別の施設を使用するという計画ではいけないと思うが、その点について総務省に確認しているのか。 • 要綱を読めば、建て替え後の庁舎が事業継続計画の拠点とならなければならないと明記していると考えがどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 2016 年に発生した熊本地震を契機に、国は自治体庁舎の耐震性能等の確保について重点的に取組を進めており、適用要件を満たせば、交付税措置は確保できるものと考えています。 • 新庁舎整備にあたり起債を行うことについては、県を通じて国の同意を得るための協議を来年度行うこととなります。 市町村役場機能緊急保全事業の適用要件として、新庁舎を事業継続計画に位置付けることとなりますが、これはどんな災害が起こっても、本庁舎で業務を行わなければならないという条件ではないと認識しています。
<ul style="list-style-type: none"> • 現地で建て替えが決まった以上、市議会の決議文にも書いてあるように、防災機能や災害時の対応力強化を考えた敷地の整備や建物の建築を行う必要がある。この点について、現在、概算事業費を約 130 億円と見込んでいるが、これ以上増えることはないか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 現在見込んでいる費用の中には、地盤改良や耐震性向上のための費用も含まれています。
<ul style="list-style-type: none"> • 現地で建て替えという選択は、防災上のリスクは高いと思うが、地盤を嵩上げすれば庁舎は浸水しないと思う。しかし、防災機能の強化に多額の費用を要することになれば、国からの財政支援で 28 億円負担を軽減したとしても、余計に費用がかさむのではないかと懸念している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 高砂市や広島県の三原市、尾道市など、海や川沿いで庁舎を建て替えた事例は多くありますが、他自治体と比べて大幅に事業費が高くなっているという状況にはなっていません。

意見の概要	回答内容
<ul style="list-style-type: none"> 財源について。実質的な市の負担額が 88 億円となっているが、実際どのような形で支払っていくことになるのか。新庁舎整備にあたり、市民の税金が上乗せされるようなことはないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 総事業費 138 億円を調達するため、122 億円は借金（起債）します。しかし、その返済にはすべて市民の税金を活用するのではなく、国からの交付税措置（28 億円）や庁舎建設基金（16 億円）等があることから、最終的な市民負担は 88 億円と想定しています。市としては、市民負担をなるべく抑制するようにしていきます。
<ul style="list-style-type: none"> 実質的な市の負担額が 88 億円あるが、単純に 138 億円のローンを市民に払ってもらいますという書き方で良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 総事業費を一括で支払うことはできないため、122 億円については借金（起債）し、利息を含めて毎年返済していくことになります。庁舎だけを考えると年間 4～5 億円の支払いが新たに生じますが、市は起債という形で借金をしながら様々な事業を行っています。なお、現在の明石市の借入額や毎年の返済額は、県内で最低レベルです。今回、新庁舎整備にあたり、新たな借金が増えることにはなりますが、市全体の借金額をやりくりしながら、返済額については今後も県下最低レベルを維持したいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> 財政支援メニューを受けるために、整備場所を現地に決めたということだが、このメニューは他の候補地でも適用される。費用が大事と言いながらも十分議論されておらず、財政的な理由は弱いと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 市の負担額の差も踏まえ、2 年半に及ぶ議論・検討を行い、市議会において現地で建て替えの決議が取りまとめられ、市が整備場所を現地に決定しました。
<ul style="list-style-type: none"> 新庁舎の設計について、プロポーザル方式など民間の提案を受けると、デザインが重視され、市民や職員が使いにくいレイアウトになったという事例があると聞く。外観にこだわったために、使い勝手が悪い庁舎にならないよう、市民がわかりやすい、使いやすい市役所にしていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> デザインについては、視察先の自治体から、「著名な設計者に依頼したが、職員の使い勝手が悪く、メンテナンスも大変だ」という話も聞いています。今後、設計者を選定していく中でもそのような点については十分留意していきます。
<ul style="list-style-type: none"> 設計業者の選定にあたっては、評価委員会のようなものをつくるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価委員会については、公平性・透明性を確保する手段として有効だと考えており、設置する方向で検討しています。

(7) 検討経過及び結果（新庁舎整備場所及び選定理由）について

意見の概要	回答内容
<ul style="list-style-type: none"> 市役所本庁舎の駐車台数（車による来庁者数）を教えてください。また、職員が通勤で利用している車・バイクの駐車台数がわかれば教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の立体駐車場駐車台数は 253 台となっており、市民会館のイベント開催時は満車となる場合がありますが、市役所来庁者による利用台数は、最大 200 台弱であり、市役所への来庁者だけを考えると満車になることはないと考えています。 車で通勤する職員が市役所の敷地内に停めることはなく、職員用のバイク・自転車駐輪場については、各 100 台、合計 200 台程度で足りると認識しています。
<ul style="list-style-type: none"> 市民一人あたりの本庁舎の利用頻度をおおまかで構わないので教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 来庁者数についての正確なデータはありませんが、市民課窓口の取扱件数は年間約 15 万件となっています。
<ul style="list-style-type: none"> ライフサイクルコストの比較について。65 年では建て替えの方が優位でも、別の時点では耐震補強後に建て替える方が優位になることもある。構造的な制約やバリアフリーへの対応不足等の問題からも建て替えを選択したのだと思うが、A I 等の技術がさらに進展するのを待ち、現時点では耐震補強と大規模改修を選択するのも 1 つの考え方だと思うがどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 改修等で庁舎の耐用年数を延ばし続けることができればよいが、現庁舎は老朽化が進んでおり、配管の修繕費等が相当かかっていることから難しい状況です。 いつかの段階で庁舎の建て替えは必要であり、今回建て替える庁舎をできるだけ長く使用したいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> 現庁舎は、築 50 年が経過しようとする旧耐震基準の建物だから建て替えるということだが、学校施設については耐用年数を 90 年に延ばして使うと言っている。この違いについて説明してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 本市の学校施設は、ブレースを入れた耐震補強に加えて、大規模改修も実施しており、耐震化率は 100%となっています。一方、現庁舎については、阪神淡路大震災の際にもそれほど手を入れておらず、また、改修しても電気や水道の配管については寿命が伸びないことから、庁舎については建て替えが必要という判断で、現在検討を進めています。

意見の概要	回答内容
<ul style="list-style-type: none"> • 整備場所を市有地に限定する必要はない。民有地も含めてベストな土地に建設すべきである。 • 基本計画（素案）の整備場所選定理由を見る限りだが、現在地とJT跡地を比較検討した結果、消去法で現在地に決定したように見えて違和感があった。 • 淡路島があるから明石には津波は来ないという考えは神話である。東日本大震災の津波も陸地にぶつかったり、浅いところに乗り上げたりして増幅した。その点から、現在地に新庁舎を整備するのは非常に危険である。 • 新庁舎は明石公園のお城の部分に整備すれば良いと思う。明石城部分はかなり地盤が高くなっているし、石垣で相当な津波は防げる。また、進入路も3方向から確保でき、明石駅から非常に近い。明石公園は県の土地であり、明石城という歴史的な建物があるので簡単にはいかないだろうが、そのような発想があっても良いのではないかと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 新庁舎整備については、老朽化や耐震性不足といった現庁舎の課題を早期に解決しなければならないということが検討の起点となっており、市有地を中心に候補地の検討を行ってきました。 • 複数の候補地がある中、2017年度から約3年間、各候補地のメリットやデメリットなど、様々な観点から市議会特別委員会で検討を重ねてきました。その上で、国の財政支援や議会の特別多数決等の重要な要素を加味し、議会としては、災害対策を万全に行えば現在地が最も新庁舎整備場所に適しているという結論が出されました。 市としては議会の決議を重く受け止め、現在地での建て替えを決定したところです。 • 兵庫県による南海トラフ地震のシミュレーションでは、現在地での津波の高さは最大2mと想定されています。現在地の標高が2.4mなので基本的には津波の危険性はありませんが、想定を超える津波を考慮に入れながら、対応策を検討していきます。

意見の概要	回答内容
<ul style="list-style-type: none"> 整備場所の選定段階から市民参画の機会を確保し、多様な意見を聞くべきであった。 当初は西明石も候補地域になっていたが、どこを整備場所の候補地とするかについて市民の意見を聞いたのか。 整備場所を検討し直せばよいと考えるが、選定プロセスについて改めて説明してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想を策定するにあたり、市内の主要駅である明石駅、西明石駅、大久保駅の3駅から徒歩圏内にある場所を候補地域として設定しています。その中で、現庁舎の老朽化が進む中、速やかに建て替えを実施できるよう、市の所有地を前提に整備場所の候補地を設定しました。 西明石地区については、上ヶ池公園と卸売市場を候補地として考えましたが、両施設とも都市施設として十分に機能していることから、現実的ではないとして候補地域から外しました。
<ul style="list-style-type: none"> 個人的には整備場所はJT跡地ではなく、現在地に防災機能を備えた庁舎ができるのが良いと思っている。 	<p>その後、検討を進めていく中で、昨年9月の市議会において、現在地が整備場所としてふさわしいという議決を受け、市として決定したところです。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 基本計画（素案）18ページに、JT跡地のマイナス面（課題）として「市役所移転の合意形成」とあるが、誰の合意を指しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> JT跡地のマイナス面として記載している合意形成は、市民との合意形成です。住民投票の結果が反映されず、移転か現地建て替えかで二転三転した事例があるなど、市役所の移転を検討した自治体については、高い確率で市民との合意形成が難航し、検討に時間を要しています。このことから、移転の合意形成をマイナス面として挙げています。

(8) 市民参画、その他のご意見について

意見の概要	回答内容
<ul style="list-style-type: none"> 基本計画（素案）目次の1・2の段階で、なぜ今日のような市民説明会を実施しなかったのか。協働のまちづくりを進める中、新庁舎の問題についても早い段階から市民と情報を共有すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民説明会を行うのは今回が初めてですが、市議会特別委員会や有識者会議の資料を公開するなど、情報発信は行ってきたところです。本日は基本計画（素案）についての説明会ですが、庁舎整備全体のステップの中で、基本計画は5段階のうちの2段階目の位置付けです。
<ul style="list-style-type: none"> アンケートで現所在地建替えか移転のどちらが良いかを聞くなど、市民の意向を確認する必要があると思う。 	
<ul style="list-style-type: none"> 整備場所を決める前に市民の意見を聞くべきであった。 	<ul style="list-style-type: none"> 整備場所に関しては、議会と意見交換をしながら一定の案を固めた上で、市民に直接説明し、意見を聞く必要があると考えていました。その中で、市議会の全会一致の決議ということを重ね受け止め、現所在地建て替えの方向で取り組むことにしました。
<ul style="list-style-type: none"> 整備場所が決定したことについて、議会から地元への説明があるべきだった。 	
<ul style="list-style-type: none"> すでに議会が決議をしている中で、今さら市民が何か言っても変わるはずがない。本来であれば、もっと早い段階で市民に対して説明をしなければならぬ。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の市民参画については、どのようなタイミング・手法で行うか、議会ともよく相談しながら進めていきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> 市民説明会で出た意見を全て取り入れることは現実的には難しいと思う。市がしっかりと考えているということは重々理解しているし、ハード面の検討や設計会社の選定をしっかりと進めていくことが重要だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民参画については、より多くの方から意見を頂戴できる手法を検討していきます。
<ul style="list-style-type: none"> 市民や学識経験者を入れた諮問機関を設置したり、ワークショップをしながら市民意見を反映したりするなど、納得できるまで意見交換を行うのが市民参画である。 	<ul style="list-style-type: none"> 次の設計段階では、図面やレイアウト等の一定の案が完成した時点で、市民意見を聞く予定です。今回の市民参画の良かった点や反省点等を踏まえながら、取組方法を決定します。
<ul style="list-style-type: none"> 市民は新庁舎整備に関心はあると思うが、仕事や家事育児で疲れている中、説明会に中々足を運ばないのだと思う。説明会や市議会の委員会のインターネット中継について検討していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民説明会でいただいた意見については、議会に報告します。
<ul style="list-style-type: none"> 今回のような説明会以外にも、例えば文書やSNS等、様々な手法を用いて市民への説明や質疑応答を行っていただきたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> 多くの市民は、庁舎の建て替えが計画されているということすら知らないと思う。 	
<ul style="list-style-type: none"> 市民参画について、今後の取組予定を教えてください。 	

意見の概要	回答内容
<ul style="list-style-type: none"> 今後、設計段階でも市民参画の機会を設けるとのことだが、どのように行う考えなのか。設計中に意見を聞く機会を設けてもらえるのか。 設計者の選定はプロポーザル方式を予定しているとのことだが、評価項目について市民の意見を聞く予定はあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 設計者・施工者の選定方法は、今後検討することになりますが、設計者については、どの会社が最も市の考えに沿った形で設計を進められるかという視点から決定するプロポーザル方式で選定したいと考えています。 設計業者の選定にあたっては、何よりも公平性と透明性を確保していかなければならないと考えており、現在は、業者選定に向けて、体制や評価項目を内部で検討している段階です。 設計者選定にあたり、最優秀提案者の提案内容を市ホームページで公開している事例もありますので、そのような事例も参考にしながら、市民への情報公開を行っていきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> 今回の市民説明会で出た意見については、その要旨をまとめて公開してほしい。 今後、設計者や施工者の選定にあたっては、公明正大な形で業者を選定していることがわかるように、市民への情報公開に努めていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民会館については、構造部分の耐震化が完了しており、震度5強程度の地震であればほとんど損傷を生じず、震度6強以上の大規模地震に対しても倒壊等の被害は生じない想定となっています。
<ul style="list-style-type: none"> 市民会館は耐震化が完了しているとのことだが、どれくらいの地震・津波に耐えられるという想定なのか教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民会館については、構造部分の耐震化が完了しており、震度5強程度の地震であればほとんど損傷を生じず、震度6強以上の大規模地震に対しても倒壊等の被害は生じない想定となっています。
<ul style="list-style-type: none"> 現庁舎に隣接している勤労福祉会館についての市の考え方を聞かせてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 勤労福祉会館は、1982年に新耐震基準で建てられた建物であることから、耐震性不足による建替え等の必要性はないと考えています。しかしながら、建物や設備の老朽化は進んでいるので、公共施設の適正配置の中で、今後のあり方について検討を行っていきます。
<ul style="list-style-type: none"> 大久保市民センター敷地と中部地区保健センター用地については、処分しないという理解でよいか。 2つの土地は、今後大久保地域のために有効活用することを考えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 大久保市民センター敷地と中部地区保健センター用地の方向性については、現時点では全く未定です。土地を活用する場合は、どうすることが市民のためになるのかという基準で考えていきます。